



月ヶ瀬公民館だより

公益財団法人奈良市生涯学習財団
月ヶ瀬公民館
奈良市月ヶ瀬尾山 2815 番地
TEL&FAX 0743-92-0346
発行人 館長 藤田美佳

向秋

残暑お見舞い申し上げます。遅い梅雨明けと共にやってきた急激な暑さと、マスク着用生活で、熱中症の危険性が高い日々を過ごされているかと思います。先月は「土用の食い養生」で、「う」のつくもの食べ物として瓜を挙げましたが、例年美味しくいただいている月ヶ瀬のスイカ（西瓜）やマクワウリ（甜瓜）が今年是不作だとのこと。そのため私は、昨年漬けた梅干しと梅の砂糖漬け、そしてそのエキスを活用した月ヶ瀬らしい食で、暑さ対策をしてモリモリ食べて過ごしています。

さて今月は、夏休み企画として、月ヶ瀬中学校区地域教育協議会との共催による「子どもSTUDY・サポート塾」を8月9日から開始しました。8月中の毎週日曜日午前、図書室・研修室を会場に、現役・退職教員、大学生等が、小中高生の夏休みの宿題・課題のサポートを行っています。長期で学校が休校となったことにより、子どもたちの中には、心身の状況が不安定であったり、学習の遅れが生じていたりするケースもあるため、地域教育協議会・総合コーディネーターの井本章子さんにご尽力いただき、実現しました。今後も地域のニーズに即して、地域の教育を担う公民館の役割を果たせたいと思っています。着任時から取り組みたいと思っていたことを具現化できたので、継続していけるよう、地域教育協議会のみなさまと共に取り組んでいきたいと思っています。



こんな講座がありました！ 茶芽っ子クラブ

8月1日 竹で おわんとおはしづくり

講師は徳家眞さんです。

毎年恒例の竹細工とそうめん流しの予定は、今年はコロナ対策を考慮し、そうめん流しができないため、お椀とお箸に加え、竹とんぼを作って、飛ばして遊びました。



8月12日夏の夜空をみてみよう

講師は辻井君代さんです。

当日はなんと曇り空。厚い雲に覆われて、木星がわずかに見えた程度で、流星群を見ることはできませんでした。しかし、子どもたちは夜の講座に大興奮でした。





図書室だより



毎月少しずつ紹介している新刊を借りに来て下さる方が増えていて、うれしく思います。今月も引き続き紹介します。

朝倉かすみ『平場の月』 ～映画化決定～2019年大人の男と女を最も泣かせた本～

家庭を持ってこの辺に住む地元女子たち。同じく地元男子で独身男子の青砥が中学時代に告白して、フラれた芯の強い須藤と再会した。それぞれ50年生きてきた過去や家族がある。心のすきまを埋めるような感情や生きる哀しみが描かれている。(上田久仁子)

菊池和子『究極のきくち体操』

女性学級のヨガに似たポーズがたくさんあります。他のスポーツにはない爽快感が得られました。この1冊で不調の予防・改善になるかも?! 何事も加齢だから…と後ろ向きになるのはもったいない。体は自分で変えられるんだ! そう思っています。もっと早くからやっておけば、もっと若かったのに?? (佐々木栄)

サーロー節子・金崎由美『光に向かって這っていけ一核なき世界を追い求めて』

2017年ICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)のノーベル平和賞授賞式で、被爆者としてスピーチをしたサーロー節子さん。故郷広島での生い立ち、1945年8月6日午前8時15分の一瞬の閃光、米国留学からカナダへの移住、反核運動の取り組みとノーベル平和賞への道のりなど、被爆体験、平和活動家との連携、そして若い世代へのメッセージで綴られたこの書を、終戦から75年目の夏 今こそ手に取って欲しい (藤田美佳)



子ども STUDY(スタディ)サポート塾 開講



小中学生・高校生のみなさんを対象に、現役・元教員、大学生が、夏休みの宿題・課題や自由研究のサポートをします。一緒に勉強したり、お話しをしたりしましょう。

8月23日、30日 日曜日 9:00-12:00 会場：図書室・研修室

移動図書館



毎月第3金曜日 13時10分～13時50分
前年度までと時間が異なりますので、ご注意ください。
1カ月、1人10冊まで借りられます。



【9,10月前半の講座予定】

- 9/9 (水) 14:30-15:30 茶芽っ子クラブ
「マジックを習おう」
- 9/29 (火) 19:30-21:00 女性学級
「エクササイズ」
- 10/1 (木) 13:30-15:00 梅の里学級開講
式、講演：八木酒造(株)代表取締役社長・八木威樹さん
- 10/3 (土) 10:30-12:30 プチ田舎暮らし「闘茶会」
- 10/3 (土) 13:30-15:00 女性学級
「エクササイズ」

癒えるなき惨禍の報よホトトギス	たおやかな朝の花です黒揚羽	夕日せにうちわばたばた歩く魔女	丹の橋へ滝のしぶきの立ち上がる	万縁の奥に小さき仁王門	さくらんぼ幼なにつくり歯二本	母の縫ふ浴衣似合いし三姉妹	始まりの赤バイエルや蝸牛	雲ひとつ掬ふ清水の透けてをり	草刈りの音に目覚める里の朝	雨しづく四葩のつぼのあふれ出す	荒梅雨や筑紫次郎の末に住む	夏空へぶれぬノックに子の返球	窓全開風よ通れよ梅雨晴間	生き延びるめだか三代放置甕	世間とは無縁となりて夏見舞	猫パンチ避け夏つばめ低く翔ぶ
残照	月城	利明	由姫子	ちず子	和代	かつ野	節子	ますみ	繁雄	すま	卓	孝雄	ふみ子	雍子	豊美	旅人

月ヶ瀬俳句会【七月】

